

がまこり 議会 だより

12月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～7
議決された主な議案……………	8～11
委員会通信……………	11
議会日誌、3月定例会予定等……………	12

NO. 127
2025.2



シティドレッシングを実施しています

12月定例会

一般質問…ここが論点



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になれます

12月市議会定例会中、12月4日、5日、6日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。

日程	議員名	主 な 質 問 の 項 目
12月4日(水)	芦 刈 純 奈	保育園の利用 小中学校における隠れ教育費
	牧 野 泰 広	保育を取り巻く環境整備 下水道整備
	鈴 木 貴 晶	学校教育 デザインマンホール 職員のストレス軽減、作業効率の向上
	伊 藤 享 佑	災害時対応 災害時要援護者への対応 医療的ケア児への対応
	中 野 香 余	鳥獣害対策 野犬対策 学校における英語及び総合的な学習教育
12月5日(木)	日恵野 佳 代	市民も観光客も快適なまちづくり 核兵器のない平和な世界の実現のために土砂崩れの対応
	大須賀 林	コミュニティパークの運用 マンホール蓋への広告 名鉄西尾・蒲郡線の存続 令和7年度予算
	竹 内 滋 泰	令和7年度の予算編成
	八 田 寿 人	ラリー三河湾
	松 本 昌 成	感震ブレーカー設置の普及 婚活支援 認知症施策
12月6日(金)	尾 崎 広 道	市長への手紙 交通利便性向上としての都市計画街路整備と観光立市都市としての都市計画街路整備、及びお金を使わない幹線道路整備
	大 場 康 議	農業振興
	太 田 哲 也	奨学金
	鈴 木 基 夫	イネーブリング・シティ構想 蒲郡市のエリアレジリエンス強化
	藤 田 裕 喜	新型コロナウイルス感染症への対応 蒲郡市における救急車 蒲郡市における子育てや教育をとりまく諸課題 竹島園地におけるトビによる被害とその対策
	千 賀 充 能	総代区 部活動

※[下線付の項目](#)は質問と答弁の要旨を掲載しています。

問 低年齢児保育について、途中入園しづらい状況の緩和策は何かあるのか伺う。

答 保育士確保と施設整備の促進が重要と考える。公共施設再編の取組では、塩津小学校敷地に複合施設として新しい塩津保育園を配置する事業を進めている。大塚地区でも2園を統合し、現在のニーズに対応できる施設への建て替えを行う。

問 障がいのある子供の保育における、今後の受入状況改善についての考えを伺う。

答 支援の必要な児童が年々増加しており、適切な支援のためにも加配保育士の手厚い配置が必要と考える。保育園や療育施設、保健師等と連携を取り、態

保育園の利用について



芦刈純奈
自民党市議員

小中学校における隠れ教育費について

勢を整えていきたい。

問 個人負担で購入する教育関係備品の内容と年間費用を伺う。

答 絵の具セットや鍵盤ハーモニカ、その他テスト類など補助教材等を合わせて、年間約3万円となる。

問 教材の特性に応じ、個人所有から学校備品化へ進めていくことについて伺う。

答 小中学校の補助教材は、保護者負担とせず公費で採用しているものが多い。今後も教材の充実を進め、使用状況等を踏まえて備品化を考えていきたい。





牧野泰広
自由クラブ

保育を取り巻く 環境整備について

問 保育士採用の方法について伺う。

答 募集時期を約1か月早め、増加する低年齢児保育ニーズなどに対応するため募集人員を増やした。試験方法では、専門的、実践的な知識や技能を持つ人材を採用すべく実技試験、面接に重きをおいた試験方法へと変更した結果、昨年度と比べ倍以上の応募があった。

問 保育士の負担を減らすための取組について伺う。

答 業務改善の取組は、保育指導の計画作成では作成時間短縮のためひな型を用意したり、写真販売をインターネッ注文でできる方法に変更した。令和4年度に業務支援システムのコードモンを導入した。



問 タブレットなどの機器の充実と、業務支援システムの午睡監視機能なども活用し、更なる負担軽減に取り組むべきではないか。

答 設備の充実と、システム活用による業務フローの見直しなどを検討していきたい。

下水道整備について

問 下水道の接続を促進するための補助について伺う。

答 水洗化率の向上は課題である。実施する場合、制度内容、利用率、財源などの課題もある。他市の事例を研究するとともに、実施について検討していく。



鈴木貴晶
自由クラブ

県民の日学校ホリデーについて

問 本市以外の小中学校は学校ホリデーを金曜か月曜に設定し連休にしたが、本市は連休にできなかった理由は。

答 高校入試の日程が変更され、成績処理をスムーズに進めるため県民ウィークの最終日に設定した。今後、連休にしていく方向で検討していく。

デザインマンホールについて

問 蒲郡駅前から竹島水族館へ向かう歩道に、

イネープリング・シティの活動としてデザインマンホールを設置し、散策道路・竹島園地への導線としての活用をしてはどうか。

答 歩くだけでHappyを感じられるイネープリング・ファクタ



マンホール

ーとなりうると考える。関係各所と検討をしていきたい。

問 竹島園地への導線にタカアシガニやカピバラなど竹島水族館をイメージしたマンホール蓋や、QRコードを掲載したマンホール蓋を設置できないか。

答 令和5年12月にグラウンドマンホール仕様書を改正したため、その場所や風景に合ったデザインマンホールの設置も可能である。また、メーカーに確認したところQRコードも掲載可能と聞いている。設置する場合には主体や目的も考えながら取り組んでいく必要があると考えている。



伊藤享佑
市政クラブ

災害時対応について

問 仮に1時間前に、地震の予知ができた場合、どのような対策が可能であるか、伺う。

答 災害対策本部の設置や避難所開設、職員の参集、市民の方に対する周知など、ある程度の事前対応が可能になると考える。

問 地震予知システムであるOHBシステムの導入について、市の考えを伺う。

答 実証実験や共同研究、協定の締結などにより、例えば、庁内での運用等で検証するのであれば、導入を検討できると考える。

災害時要援護者への対応について

問 本市で、必要があると判断された場合、保育園をこども専用の

避難所とする考えを伺う。

答 意義があるため、先進都市の事例を参考に検討する。

問 障害児の避難場所としてのこども福祉避難所の創設可能性について伺う。

答 現状を確認し、実現の可能性を検討していく。

医療的ケア児への対応について

問 医療的ケア児への支援体制及び看護師の早期派遣の仕組みの構築について伺う。

答 医療的ケア児の支援体制を関係課で検討する協議会を立ち上げる準備をしている。





中野香余
自民党市議団

鳥獣害対策について

問 有害鳥獣捕獲数の推移を伺う。

答 イノシシは豚熱の影響で一時減少したが、令和3年度以降は再び増加している。特に二ホンジカは近年増加しているため、対策を強化していく必要がある。

問 今後の対策における新しい取組を伺う。

答 捕獲従事者の負担軽減のためICT等の技術導入を予定している。設置した罠が作動した場合に通知メールが届く機器を25台導入する予定である。

野犬対策について

問 本市の野犬の状況を伺う。

答 捕獲数は平成27年度をピークに年々減少し、近年は30頭前後で

推移しているが、毎年各地域から出没情報が寄せられている。

問 対策における県や市の役割を伺う。

答 本市の野犬捕獲は愛知県動物愛護センター東三河支所が担っている。市は、野犬出没情報の窓口となり、県への捕獲依頼など市民生活の安全を確保する業務を担っている。

問 市民への周知について伺う。

答 広報がまごおり等で定期的に注意喚起を行っている。引き続き、市ホームページで野犬対策を周知するとともに、遺棄の防止、適正飼養や譲渡の取組などを呼びかけていきたい。



捕獲されたイノシシ



日恵野佳代
無会派・日本共産党

市民も観光客も快適なまちづくり

問 公共施設や公衆トイレなどの暖房便座と温水洗浄便座の設置状況と改修予定を伺う。

答 市内の鉄道駅には、4つの公衆トイレがあり、蒲郡駅西高架下トイレルの女性用には暖房及び温水洗浄便座が設置されている。その他未設置箇所には、次年度以降早期の設置を図っていききたい。また、

公民館や生命の海科学館などは概ね設置しているが、未設置箇所には、各施設内のトイレの利用頻度や配置状況、設備上の問題などを整理し、来年度以降順次改善していききたい。

問 公共駐車場の新紙幣対応について伺う。

答 現時点では新紙幣への対応はできておらず、12月中旬に対応予

定である。また、交通系電子マネーやクレジットカード決済への対応は、

駐車料金システム全体を更新する際に考えていきたい。

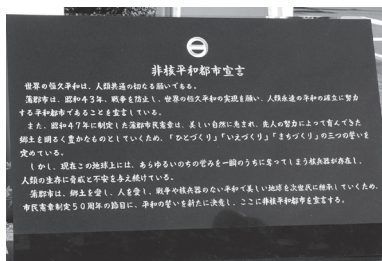
問 蒲郡駅のベンチの設置について伺う。

答 ベンチ設置については、コンコース管理者であるJR東海と協議していききたい。

核兵器のない平和な世界の実現のために

問 日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和受賞の意義について伺う。

答 受賞は、一人一人が平和について考える大きなきっかけになるものと考えている。



非核平和都市宣言記念碑



大須賀 林
自民党市議団

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

問 名鉄西尾・蒲郡線対策協議会の中で、上下分離方式を検討と報道があった。上下分離とはどこを分けるのか。

答 自治体等が土地や線路等の鉄道資産の「下」の部分を保有し、鉄道運行の「上」の部分は鉄道事業者が行う。鉄道事業者のどこまでが「上」・「下」かは自治体と鉄道事業者で協議して決定することとなる。

問 みなし上下分離とはどのようなものか。

答 実際には自治体が鉄道の資産の保有をせず、対象区間の鉄道施設の整備及び維持管理の費用を自治体が責任をもって負担し、実質的に上下分離した場合と同様の効果を実現する方式を指す。



名鉄西尾・蒲郡線

問 鉄道存続に向けて、上下分離、みなし上下分離は、どのようなメリットがあるのか。

答 いずれの方式にしても、鉄道施設の費用を自治体が責任を持つて負担することで持続可能な運行形態として路線の長期的な存続が可能になると考えられる。名鉄西尾蒲郡線区の検討会では、上下分離、みなし上下分離に路線バス転換なども加えた様々な事業パターンを想定して調査を進めているが、鉄道路線の存続を前提としつつ、現実的な運行方針が決定できるよう、西尾市とともに名鉄と協議を進めていきたい。



竹内滋泰
市政クラブ

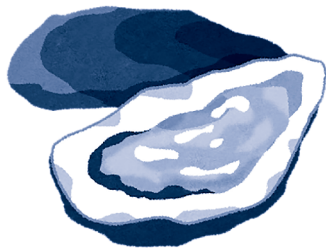
令和7年度の予算編成について

問 ふるさと蒲郡応援寄附金の使い道について、伝統文化の保存と伝承を支援する項目の追加の可能性について伺う。

答 現在、ホームページで公表しているものは、充当金額が大きなものを主に掲載しているが、伝統文化の保存と伝承を支援する項目等の追加については、教育文化に関する事業に該当し、新たに追加する必要なく、活用することは可能である。

問 水産業新事業創出実証事業の進捗状況について伺う。

答 蒲郡市漁業振興協議会が実施するIT技術を活用したカキ養殖の実証事業について、今年度種苗や中間育成貝を合計2万5千個投入し、経過観察を行っている。今後は、稚貝の大きさや投入のタイミング等を検証し、事業化に向けてより安定的な生産方法を目指し、データを蓄積していきたいと考える。



問 新棟建設の進捗状況と、令和7年度の予算編成の考えについて伺う。

答 7年度予算編成は、5年6月策定の蒲郡市民病院経営強化プランに基づき、実施していく。新棟等整備事業は、5年12月、施工予定者を特定する公募型プロポーザルが不調になったが、この12月議会後、再募集を行う予定である。



八田寿人
自民党市議員

ラリー三河湾について

問 第1回ラリー三河湾の事業効果を伺う。

答 会場のラグーナ蒲郡地区、竹島地区では、観光客数が前月比で約30%の増加が見られた。オフシャル運営関係者の宿泊が409名あったほか、メディアへの露出効果としては民放及び地元新聞社だけではなく、WEBメディアやスポーツ紙等にも多く掲載されたと聞いている。

問 第2回ラリー三河湾の新企画を伺う。

答 現在、実行委員会で詳細を検討しているため具体的な内容を示すことはできないが、今回はさらに蒲郡らしいラリーイベントとなるよう創意工夫し、官民連携で開催したいと考えている。



ラリー三河湾

詳細が決定次第、順次発表していきたい。ラリーファンではない一般の方へ向けたPR内容を伺う。

答 認知度をあげていくために年間を通じたアピールを行う必要があると考える。本市関連イベント等でもラリーのPRを行い、機運の醸成を図っていききたい。

今後は、ファンではない方でもモータースポーツ等に興味を持てる機会を作るとともに、ラリー三河湾を活用し、観光地としての魅力を十分に伝えることで、一般の方も楽しめる観光コンテンツを検討していきたい。



松本昌成
公明党市議員

感震ブレイカー設置の普及について

問 設置普及の啓発や助成制度を伺う。

答 認知度等を高めるため、ホームページで感震ブレイカーのページを設けている。国及び県の支援体制が整備されたときは、助成制度を整えていきたい。

婚活支援について

問 結婚新生活支援事業と活用予定を伺う。

答 本事業は、結婚に伴う新生活を経済的に支援するために、住宅取得費用や引越費用などを補助する制度であり、少子化対策だけでなく、若い世代の移住・定住にも寄与できる国の補助金である。他自治体の実施事例を参考に、本補助制度の活用検討を進めていきたい。



い。

問 ユマニチュードを取り入れた対応を伺う。

答 認知症サポーター養成講座では、認知症の人との接し方について、驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけないという心得のもと、実際に起こり得る事例から受講者自身にケア方法を考えてもらうことで、より良いケアにつなげている。ユマニチュードは、ケアを受ける人だけではなく、ケアを行う人にも良い効果があるとされているため、積極的に取り入れていきたい。



尾崎広道
自由クラブ

市長への手紙について

問 「市長への手紙」の内容を調査依頼した者等が市民等に公表するとき、公表の確認、もしくは許諾を行ったことはあるか。

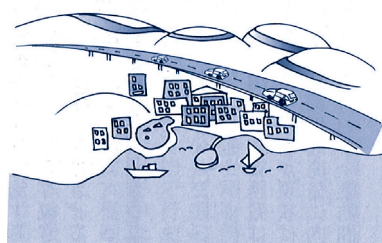
答 公表の許諾等を行ったケースは無い。

問 市民等が噂話を信じ「市長への手紙」を提出した時、市はその内容を公表した事はあるか。

答 広報がまごおりで公表する内容は、市長への手紙が市政運営に反映している事等である。議員が指摘するような内容を公表する事は無い。

都市計画街路整備について

問 豊岡大塚線の整備は、大塚町・相楽町の緊急・防災対策用とし



て非常に重要だと思市
の考えは。

答 平成18年度より事業凍結しているが、路線整備の効果など各方面と議論していきたい。

問 竹谷柏原線及びその先の臨港道路犬飼線は、浜町地区のため早期に整備すべきであると考え。県や国等の関係官庁に強く要望するべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 竹谷柏原線は、蒲郡環状線から南側について、県に対して早期事業化を要望している。臨港道路犬飼線は、現在県には要望していないが、港湾産業界の意見等を聞きながら適切に対応していきたい。



大場康議
自民党市議団

農業振興について

問 農地のほ場整備について、農地中間管理機構関連農地整備事業の制度活用を含め、今後の進め方を伺う。

答 この事業は、農地1ヘクタール以上の整備で合計10ヘクタール以上の整備が条件である。地元負担金は、国の交付金で賄われ、近年、幸田町や豊川市で実績がある。前提として、対象地区の同意や事業計画策定、地権者間の調整等が必要である。工事開始後は、勉強会で検討し、方向性が定まれば、愛知県等関係団体と連携し、事業化を進めていくと考える。

問 多面的機能支払交付金だけでは、遊休農地の管理は難しいとは思われるが、他市では



蒲郡みかん

独自の補助金制度を策定しているところもある。例えば、耕作放棄地の草刈りに係る費用の一部に補助金を出すことについて伺う。

答 管理不全農地に関する問題もあるが、他市の先進事例等を研究し、検討する。

問 ふるさと蒲郡応援寄附金を財源としてプラスし、農業振興を行うことについて伺う。

答 新規及び拡充事業については、事業の必要性、費用対効果などを検証し、実施する必要があるが、今後、農業振興事業を進めていく中で、1つの財源として、活用したいと考えている。



太田哲也
公明党市議団

奨学金について

問 過去には給付型の奨学金制度について議会でも何度か議論されてきた。制度に関するこれまでの調査、研究について伺う。

答 県内では10を超える自治体で独自の奨学金制度を設けている。豊田市、みよし市、豊橋市においては大学等を対象とした給付型奨学金制度があることを確認している。

問 蒲郡市はふるさと納税で多大な効果をあげていると認識している。これらの財源を活用し、給付型奨学金を導入することができると考えるか。

答 ふるさと納税やクラウドファンディング等の手法を参考にするとともに、国の動向を見つつ目的や効果

を鑑みた給付型奨学金制度の必要性等を考えていきたい。

問 奨学金返還支援制度を市として創設する考えはないのか伺う。

答 県や豊橋市、豊川市が実施している、登録企業が負担をして支援する制度は、企業側にもコストが掛かる。

人材獲得に際して経済的負担が大きくなる可能性があり、小規模事業者が多い本市では活用できる事業者が限定される懸念がある。

商工会議所及び市内企業等の経済界の意見を伺いながら、ニーズ把握や制度設計などの研究が必要であると考えている。





鈴木基夫
自由クラブ

イネープリング・シティ 構想について

問 健康課題における子供の健康問題について伺う。

答 令和6年度の中学1年生の血液検査へモグロビンA1cの結果では、3割弱の生徒が基準値を超える状況であった。また、朝食の欠食が小中学生のどの学年にも1割程度いる状況や就寝時間の遅れ、身体活動の減少など、子供の健康課題は保護者や地域、関係機関も含めた取組の必要性を感じている。

問 イネープリング・シティWalkの実施状況について伺う。

答 6年度は3回実施し190人の参加、1284件の写真と投稿があった。引き続きデータ収集と分析を続け、様々なイネープリング



・ファクターを見つけ出し、イネープリング・シティの実現に向けて取り組んでいきたい。

問 今後の具体的な施策の展開について伺う。

答 まちを歩く人が少ないことに着目し、市民の歩数増加、交流の場づくり、活気の創出など、まちづくりを目的としたベンチの設置などを検討している。

エリアレジリエンス 強化について

問 市独自の制度創設について伺う。

答 医療など、災害時に直接的に命を守る観点に考慮しつつ、制度創設について検討していきたい。



藤田裕喜
自民党市議団

子育てや教育をとりまく 諸課題について

問 送迎保育ステーションの導入について、市の考えを伺う。

答 自宅から離れた園への入園も可能となることから、入所希望集

中の解消にもつながり、また送迎の負担も減る等のメリットがあると考える。一方で、子どもにとって今以上に保育時間やバスの乗車時間が長くなることも想定される。バスで各園に送迎する際に同乗する保育士の確保等様々な課題も考えられるが、子育て支援策の一つとして研究していきたい。

問 新入学児の保護者が、小学校入学前の早い時期から学校の情報が得られるよう、対策を伺う。

答 大きな変更については紙面をもって周知

すべきと考える。また、学校が保護者参加型の企画を実施することで、小学校への来訪の機会を設けることができるため、今後検討していきたい。各小学校のホームページの充実も働きかけていきたい。

問 中学校の制服を自由化することも選択肢の一つとして、検討すべきではないか。

答 制服を廃止した方がよいという意見がある一方で、制服が必要と答える保護者もいる。実際に制服を着用している生の声や今後を見据えた意見をふまえ、これからの制服の在り方について慎重に検討を進めていきたい。



千賀充能
自民党市議団

総代区について

問 町内会未加入の解決策について伺う。

答 昨年度、常会の加入促進策として、活動内容をわかりやすく紹介するリーフレットを日本語、英語、タガログ語の3言語で作成し、転入転居等の届出の際に、市民課窓口で配布している。今後も、総代連合会と連携しながら、必要な取組を進めていきたい。

問 世帯数が少ない総代区の合併を進めるなどによる、持続可能な総代区の在り方についての考えを伺う。

答 自治会の再編は、それぞれ総代区の成り立ちや活動の歴史もあり、再編のメリット、デメリットを考慮し、自治会同士の話し合いを重ねることが重要と

認識している。市としては、総代連合会と連携しながら、地域の意向や課題解決に向けた動きを積極的に支援をしていきたい。

部活動について

問 市として部活動の地域移行を今後どのように行うか伺う。

答 部活動の地域移行を進めていく上で、スポーツ関係団体等の活動しやすい環境整備により、既存の団体の拡充や、新団体の設立を促進することが重要であると考えるが、具体的方策は定まっていないため、引き続き検討していく。



自治会加入促進リーフレット

蒲郡文化広場の設置及び管理に関する条例の一部改正についてなどを議決

12月定例会

議案

12月市議会定例会は、12月4日から12月16日までの13日間の会期で開き、議案21件、請願1件、意見書案1件を審議しました。

蒲郡文化広場の設置及び管理に関する条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

12月定例会の日程

- 4日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 5日 本会議〔一般質問〕
- 6日 本会議〔一般質問、議案説明〕
- 9日 総務委員会
- 10日 経済委員会
- 11日 文教委員会
議会運営委員会
- 16日 本会議〔委員長報告、意見書案説明、質疑、討論、採決など〕

条例の改正

●個人番号カードの利用に関する条例の一部改正 (第84号議案)

12月2日からマイナ保険証を基本とする仕組みに切り替わったことを受け、個人番号カードを用いて、がまごおりデジタル健康プラットフォームのサービスが受けられるよう、条例第2条に掲げる利用事務の追加を行います。

●総務委員会での主な質疑

問 ICチップ内の空き領域の利用について、現在どのように活用しているのか。

答 現在、自動交付機を利用して住民票の写し、印鑑登録証明書等の証明書を交付する事務を、窓口においては、印鑑登録証明書を交付する事務を行っています。

問 今回、空き領域にどのような情報を追加するのか。

答 空き領域にカードアップリケーションを搭載します。今回のプラットフォーム「がまご」と「がまご」に接続する端末とつながるカードリーダーに個人番号カードをかざすと、医療機関側は「がまご」と「がまご」で患者ページを参照できるようにします。

●本会議での主な論点
賛成 12月から医療機関や薬

局などでマイナ保険証を基本とする仕組みに切り替わったことを受け、医療機関等の受診時に提示する個人番号カードを用いて効率的にサービスが受けられるようにするために、条例の改正は必要と考える。

反対 個人情報情報の不正利用や不適切な閲覧がされること

質の高い医療や介護以前に、医療機関へ行くための交通手段の改善などに市が取り組む方が先ではないか。

このような情報収集や管理の仕組みはやめるべきである。

●蒲郡文化広場の設置及び管理に関する条例の一部改正 (第87号議案)

蒲郡文化広場大規模改造工事の施工に伴い、施設や設備器具の使用料改定等を行うため条例の改正を行います。また、バリアフリー化により、ふれあい会館和室の名称を、ふれあい会館多目的室に改めます。

改定後の使用料は下の表のとおりです。

(円)

施設名	区分	改定前	改定後
体育館	競技場	午前	2,800
		午後	5,200
		夜間	7,400
ふれあい会館	多目的室	午前	1,000
		午後	1,200
		夜間	1,500

(円)

施設名	名称	単位	改定前	改定後
体育館	競技場	冷暖房設備	1時間	-
		バレーボール器具	1組	150
		バドミントン器具	1組	70
		庭球器具	1組	150
		卓球器具	1組	70

●文教委員会での主な質疑
問 このタイミングで利用料の改定を行う理由は。

答 今回の工事では、体育館競技場空調機の新設、床面の改修をはじめ各種備品の更新等により、施設の利用環境の向上が見込まれます。受益者の観点からも、新たに設置する設備の使用料を設定することが適当かつ、既に使用料設定のある施設でも相応の増額改定が必要と考えたため、文化広場の供用開始予定である4月1日から、使用料の見直しをお願いするものです。

●本会議での主な論点

賛成 今回の工事では、競技場床面の改修、空調機の設置、トイレ改修、バリアフリー改修などの施設改善が行われている。

各種備品の更新も予定されており、施設の利用環境は確実に向上することが見込まれる。受益者負担の観点からも、利用者に応分の費用負担をお願いすることはやむを得ないと考える。
反対 体育館や競技場は、夜間7400円が8800円に、冷暖房施設や設備の使

■12月定例会で議決された令和6年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第6号)	訴訟事務費 110 万円	3 億 4,847 万円	488 億 4,437 万円
	一般管理費 障害者自立支援給付審査支払等システム改修委託料 549 万 5 千円		
	障害者自立支援事業費 障害福祉サービス費 8,700 万円 補装具費 700 万円 障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 1,473 万 5 千円		
	児童福祉支援費 障害児通所サービス費 2,800 万円		
	災害廃棄物処理委託料 8,965 万円		
	ユトリーナ蒲郡管理運営事業費 指定管理料 170 万円		
	分湯受入施設設置費補助金 700 万円		
	道路新設改良事業費 市道鹿島東山8号線改良事業費 998 万円 国道23号蒲郡バイパス開通式典等負担金 593 万 5 千円		
	市民会館管理運営事業費 指定管理料 600 万円		
	施設維持管理費 市民体育センター等指定管理料 400 万円		
病院事業会計 (第1号)	資本的支出 医療器械備品購入費 495 万円	495 万円	16 億 3,185 万円
モーターボート 競走事業会計 (第1号)	収益的支出 電話投票事業費 9 億 3,280 万円 法定交納付金 7 億 2,800 万円 払戻金返還金 124 億 8,000 万円 広告宣伝事業費 4,300 万円	141 億 8,380 万円	1,788 億 9,260 万円
	資本的支出 スタンド棟別館建設等工事費 6,700 万円	6,700 万円	30 億 1,200 万円

用料は、1時間につき1300円となる。
熱中症予防として気軽に使えなくなるほか、文化広場は市民の健康づくりやスポーツ等を楽しむ場であるため、市の施設として安く利用できるようにしておくべきである。

その他の議案

●人権擁護委員の候補者の推薦
(第88号議案)

委員伊藤裕仁氏の任期が令和7年3月31日に満了することに伴い、同氏を引き

続き委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、異議のない旨決しました。

●市道の路線廃止

(第95号議案)

大久古10号線について、市道としての公共性を有し

ていないため、該当部分の路線を廃止します。



請 願

②ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願書

提出者 愛知県原水爆被災者の会（愛友会）

理事長 金本 弘

審査結果 趣旨採択

（○内の数字は、請願番号）

賛否が分かれた議案・請願・意見書案

○：賛成 ●：反対 趣：趣旨採択

議案・請願・意見書案番号	会派・議員名 議案・請願・意見書案名	自由民主党蒲郡市議団								蒲郡自由クラブ				蒲郡市政クラブ				公明党蒲郡市議団		無党派	
		大場	千賀	芦刈	中野	藤田	鈴木	青山	大須賀	八田	牧野	鈴木	鈴木	尾崎	来本	新実	伊藤	竹内	太田	松本	日恵野
		康議	充能	純奈	香奈	裕喜	将浩	義明	林	寿人	泰広	基夫	貴晶	広道	健作	祥悟	享佑	滋泰	哲也	昌成	佳代
84	個人番号カードの利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
86	水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
87	蒲郡文化広場の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
96	工事請負契約の締結（西浦地区学校複合施設建設電気設備工事）	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
101	令和6年度モーターボート競走事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願2	ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願書	趣	趣	趣	趣	趣	趣	議長	趣	趣	○	○	○	○	○	○	○	趣	趣	○	
意見書案7	すべての子どもたちに保育士配置基準をはじめ保育条件のさらなる改善を求める意見書	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	

※青山義明議員は議長職により採決には参加していません。

全会一致で承認・可決した議案（○内の数字は議案番号）

- ⑧3 専決処分の承認（令和6年度一般会計補正予算・専決第1号）
- ⑧5 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ⑧8 人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑧9 指定管理者の指定（ユトリーナ蒲郡）
- ⑧9 指定管理者の指定（老人福祉センター寿楽荘）
- ⑧1 指定管理者の指定（生きがいセンター）
- ⑧2 指定管理者の指定（市立図書館）
- ⑧3 指定管理者の指定（市民体育センター、三谷グラウンド、形原テニスコート、明柄グラウンド、犬口グラウンド、南明柄グラウンド、浜町テニスコート、金平テニスコート及び西浦グラウンド）
- ⑧4 指定管理者の指定（公園グラウンド）
- ⑧5 市道の路線廃止
- ⑧7 工事請負契約の変更（拾石防潮樋門撤去工事）
- ⑧8 令和6年度一般会計補正予算（第6号）
- ⑧9 令和6年度公共用地対策事業特別会計補正予算（第1号）
- ⑧0 令和6年度病院事業会計補正予算（第1号）
- ⑧2 職員の給与に関する条例等の一部改正
- ⑧3 令和6年度一般会計補正予算（第7号）

委員会通信

西部・北部小を統合し
新たな学校とすること
について

12月11日に開かれた文教委員会において、蒲郡西部小学校と蒲郡北部小学校を統合し、新たな学校とすることについて報告がありました。2つの小学校統合の方法及び時期について、地域の皆様からのご意見も参考に、令和9年4月に西部小・北部小を統合し、新たな学校として開校することとしました。

北西部の小学校、保育園、公民館、児童クラブ及び特別支援学校が集合する施設が完成するまでは、現北部小の校舎で教育活動を進めていく予定です。蒲郡北地区個別計画は、現在施設配置の再検討をしており、各施設の集場所は未定ですが、西部小学校の児童数減少は喫緊の課題と捉え、統合を進めていきます。

経済委員会 9月30日～10月2日

石川県能美市／空き家対策
石川県かほく市／新規就農者・農業後継者支援
石川県野々市市／企業版ふるさと納税
福井県坂井市／ボートレース三国



委員会の行政視察報告

先進自治体等の事例を学ぶため、9月から10月にかけて経済委員会が、11月に総務委員会と文教委員会が行政視察を行いました。視察地や視察項目をお知らせします。

総務委員会 11月5日～7日

兵庫県加西市／ふるさと納税 NFT、Kasai GO!
愛媛県西条市／ソーシャル・インパクト・ボンド
香川県丸亀市／防災まちづくり活動



文教委員会 11月5日～7日

京都府京都市／京都市立開晴小中学校（義務教育学校の運営）
三重県伊賀市／BOOKMARK STORAGE の運営
三重県菰野町／部活動の地域移行



議会日誌

9月27日から12月16日

9月

30日～10月2日 経済委員会行政視察

10月

24日 議会運営委員会理事会

11月

5日～7日 総務委員会行政視察

5日～7日 文教委員会行政視察

20日 議会運営委員会理事会

22日 名鉄西尾・蒲郡線存続協議会

12月定例会招集告示

議案説明会

27日 議会運営委員会

議会運営委員会理事会

12月

4日～16日 12月定例会

16日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会

3月定例会予定

3月市議会定例会は、2月26日(水)から開会する予定です。

詳しい日程は、2月21日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



こちら編集委員会
66-1169

2025年明けましておめでとうございます。

昨年は都知事選をはじめ、自治体の首長選挙でいろいろな話題がTV、新聞等のマスコミにぎわえました。とりわけ選挙において、ネットを利用したものが票数に大きく影響したとされています。兵庫県知事選においても同様の動きが見られ、今後の選挙の在り方にも、大きな影響を与えていくこととなりそうです。

蒲郡市近隣では、岡崎市と豊橋市において市長選があり、いずれも1期4年任期の現職が、新人候補に敗れるという結果になりました。両市とも、本市といろいろな関わりがあり、今後も変わることなくお付き合いをお願いするところです。

また、県内では女性市長が4月に碧南市、11月に知立市と相次いで誕生しました。女性が活躍する時代となりつつあるのを実感します。

今年も議員の積極的な議論を通して、市政の動きが見えるよう精進いたします。議場に大型モニターも設置されましたので、ぜひとも皆様のご来場・傍聴をお待ちしています。

議会だよりをスマホへ配信します！

右のQRコードを読み込むか「マチイロ」で検索



無料です！

今月の表紙

シティドレッシング

蒲郡の夜を彩り、街全体の賑わいを創出する『シティドレッシング事業』を今年度も実施しています。

蒲郡駅や西浦パームビーチ、西浦園地などがライトアップされ、イルミネーションによる装飾が施されています。蒲郡駅北口は温かみのある暖色が、駅南口は海をイメージした青色の景色が広がっています。

点灯時間は午後5時から午後11時の間、2月28日まで実施しています。

ぜひお立ち寄りください。

